

## 山陰海岸国立公園

## 鳥取砂丘野営場

変更

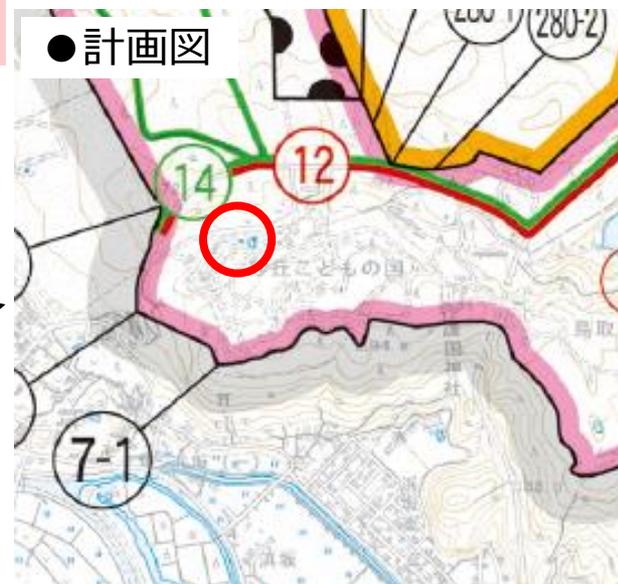
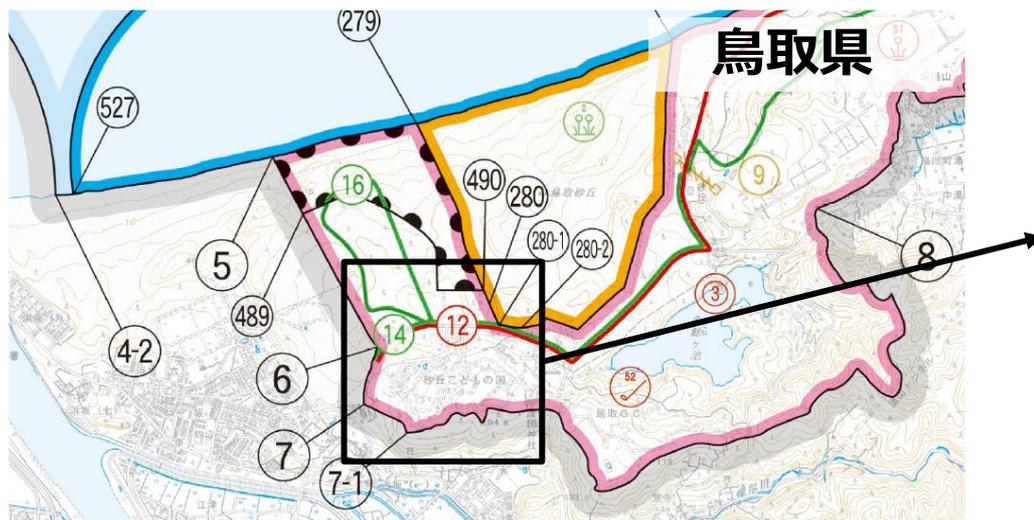
区域面積：3.0ha→14.0ha

最大宿泊者人数：200人/日→500人/日

執行者（予定者）：民間

## 第2種特別地域（県有地・市有地）

## ●位置図



- ・本公園の西端の、公園最大の利用拠点である鳥取砂丘集団施設地区西部に位置する。
- ・市営の柳茶屋キャンプ場（公園事業・無料）及び県営のこどもの国キャンプ場（事業外・有料）があり、一年をとおして多くの利用者が見られる。
- ・当該地一帯について、「鳥取砂丘利用拠点計画」（令和2年2月策定）や「鳥取砂丘西側整備構想」（令和2年3月改訂）により、総合的な再整備が計画されている。



柳茶屋キャンプ場(鳥取市執行)

**柳茶屋キャンプ場  
(鳥取市執行 2.9ha)**

**こどもの国キャンプ場  
(事業外・鳥取県 1.1ha)**

**変更後区域  
(民間14.0ha)**

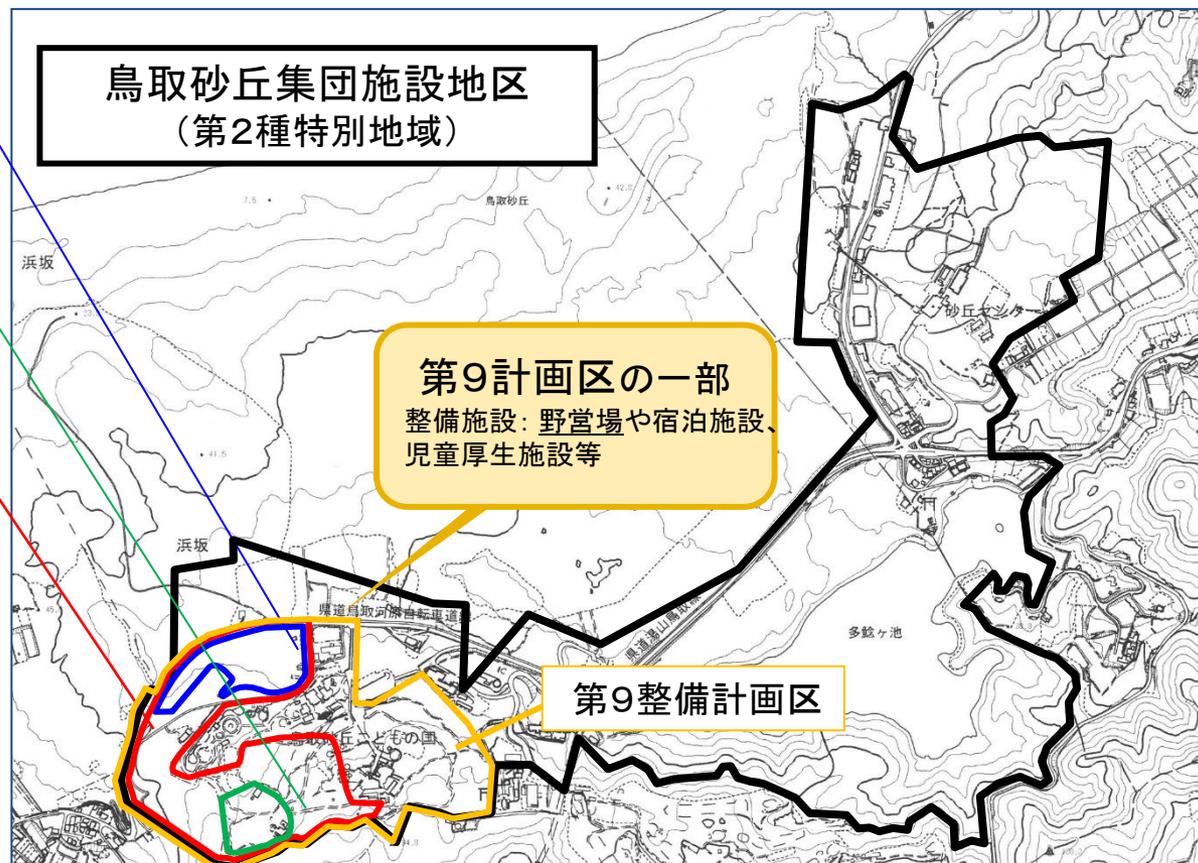
### 事業決定規模

区域面積：3.0ha

→ 14.0ha

最大宿泊者人数：200人/日

→500人/日

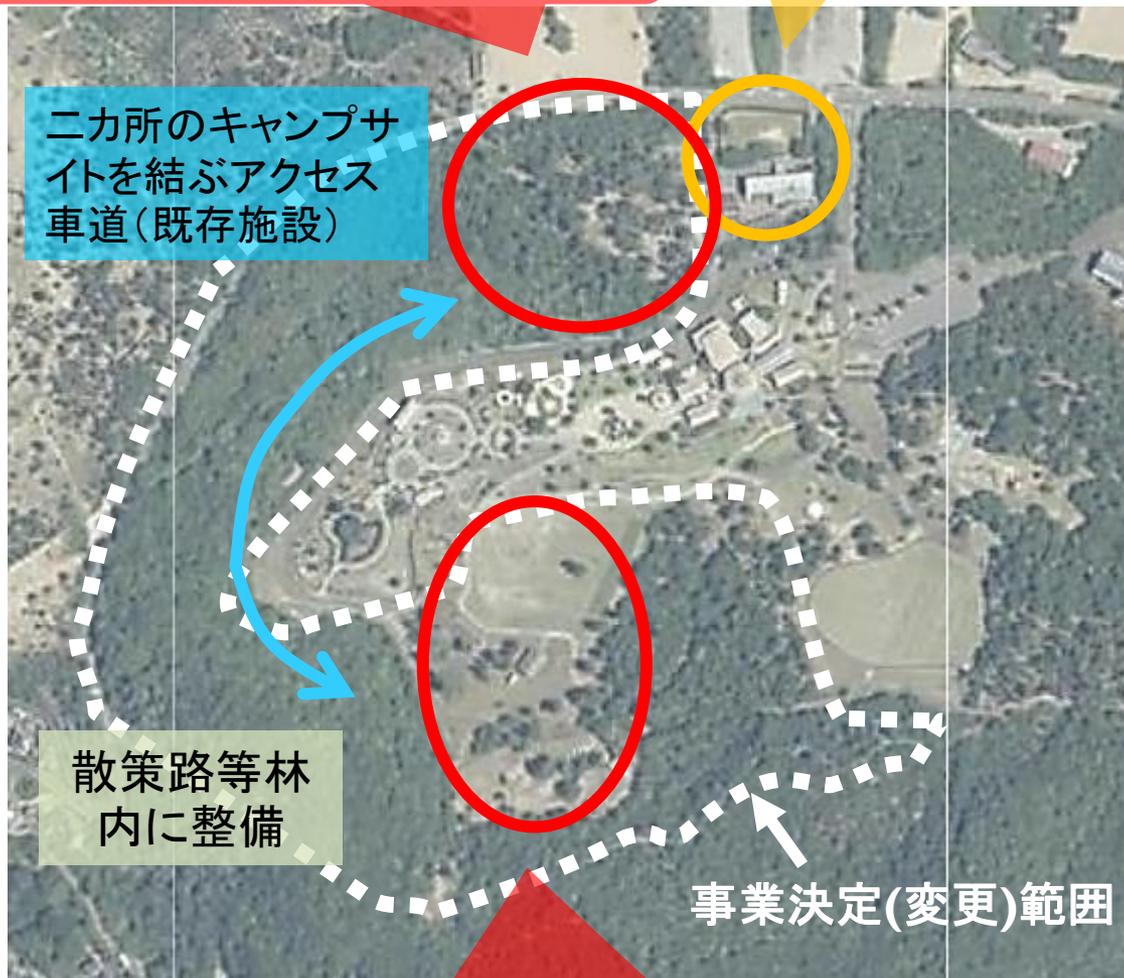


- 既設の野営場(鳥取市執行)及び事業外キャンプ場(鳥取県)とその周辺区域において、公募型プロポーザルにより選定された民間事業者が一体的に整備。
- グランピングやオートキャンプ等、多様なニーズに対応する施設として再整備する。
- 鳥取砂丘集団施設地区西側においては、令和4年度に環境省のフィールドハウス(仮称)、鳥取県の休憩舎再整備が計画されている他、民間事業者によるワーケーション施設やリゾートホテルが計画されており、これら施設との機能分担・連携を図る。

施設配置(イメージ)

柳茶屋キャンプ場  
(グランピングエリアとして再整備)

サイクリングターミナル  
(キャンプ受付)



二カ所のキャンプサイトを結ぶアクセス車道(既存施設)

散策路等林内に整備

事業決定(変更)範囲

こどもの国キャンプ場  
(フリーサイト・RVパークとして再整備)



サイクリングターミナル(市営宿泊施設)



柳茶屋キャンプ場(市執行野営場)



こどもの国キャンプ場(県営・事業外)



クロマツ林内の散策路

## 自然環境への影響

- 想定される影響：テントサイト周辺の整理・アクセス路や散策路整備のための伐採
- 風致景観への支障：
  - ・敷地に存在する森林は防砂林として植栽されたクロマツを主体とする疎林であり、自然植生ではない。
  - ・現にキャンプ場として供用されている範囲を再整備するものであり、新たに森林を伐開してテントサイト等を整備するものではない。
  - ・防風・防砂及び目隠しのため、周辺道路等との間は樹林帯を残す予定であり、風致への影響は十分に低減されるものと思料。



今回拡張する区域(こどもの国キャンプ場(鳥取県営))